

願いを込めた
1104筆の署名

新幹線栗東駅舎の負担やめよ」の請願

市議会に提出されました

駅舎への負担やめ、暮らしを守る市政を

「栗東駅は利用しません。夫も近所の人も言っています」「2億7000万円も負担はおかしい。税金は市民のために使って」など、新幹線栗東新駅に野洲市が負担することへの批判が日増しに高まっています。

この間、野洲市でも「負担の中止を求める野洲市民の会」が結成され、署名運動が行われていました。署名数は、1104人に達し、5月30日、小菅六雄・野並享子両議員を紹介議員として、市議会

に「新幹線栗東駅の駅舎建設費の負担中止を求める請願」が提出されました。

これほど批判が強い新駅への建設費負担です。しかし、市長は、成り行きにもよるが、野洲市が負担するための議案を、6月定例議会の最終日(29日)に、提案したい」と表明しています。市民の願いに反する考えです。日本共産党は、駅舎負担をやめ、市民の暮らしを守る市政を推進します。

県が有料化した、心身障害者、母子父子家庭などの医療費 市単独助成で無料化を存続

滋賀県が県施策として実施している福祉医療助成制度を改善。心身障害者、母子父子家庭、一人暮らしの寡婦の医療費を、8月から有料化(外来一診療500円、入院一日1000円)に改善します。

この有料化(一部負担)に対して、野洲市では、市単独助成で、現行の無料化が存続されることになりました。

その結果、6月定例市議会に、患者負担(対象者は約400人)を免除する関連議案などが提案され、無料化が存続されることになりました。日本共産党は、引き続き、県施策の存続・復活の実現をめざしがんばります。

中主学童が増築されます

中主学童保育所(ひまわりハウス)が定数を超え待機者まで発生した問題で、保育室の増築がされることになりました。6月議会に、2560万円の増設予算が提案されます。日本共産党は、旧中主町時代から、一貫して改善を要求していました。

今回、保育室の増築がされますが、夏休みには間に合いません。現在、夏休みには児童の入所希望は69名です。当面の打開策として、学校の空教室の利用などの対策が必要です。

引き続き、署名を推進しています

「市民の会」では、30日の署名提出に引き続き、請願が審議される、22日まで署名運動を推進されています。市民のみなさんのご協力をお願いします。

6月定例市議会は、9日から開催されます

6月 9日(木)	本会議(提案説明)
16日(木)	本会議(議案質疑、一般質問)
17日(金)	本会議(一般質問)
20日(月)	本会議(一般質問)
21日(火)	本会議(一般質問・予備日)
22日(水)	総務常任委員会
24日(金)	文教厚生常任委員会
27日(月)	産業土木常任委員会
29日(水)	本会議(議案討論・採決)

「新幹線駅舎負担やめよ」の請願は
22日(水)総務常任委員会で審議されます



6月議会は、9日から開催されます。ご意見・ご要望をお寄せください。議会傍聴にもお越しく下さい

市議会への傍聴に
ぜひお越しく下さい

やす民報

日本共産党野洲市委員会
2005年6月5日 33

市政・市議会へのご意見・ご要望、暮らしの相談をお気軽にお寄せください

小菅六雄 比江668-3 (電話)589-4971 (FAX)589-6184
野並享子 北野一丁目7-10 (電話)587-0985 (FAX)586-1102